学期レポート

2009.8.7　第 4 期生 福永　梢

月	火	水	木	金
9:00 Eng101B 11:50	9:00 Eng101B 11:50	9:00 Eng101B 11:50	9:00 Eng101B 11:50	
12:00 Vocabulary Improvement 20:00	12:00 Vocabulary Improvement 18:00	12:00 Vocabulary Improvement 18:00	12:00 Vocabulary Improvement 20:00	

― 単位あり ―

- Engl101B　Reading/Compo (Intro to Lit)：4 単位
- Engl 172　Vocabulary Improvement：1 単位

１．Engl101B(Reading/Compo –Intro to Lit-)

大学院で、本来の学問である学校心理学にできるだけ専念できるよう、夏学期の英語クラスを取ることにした。前学期では書く力に重心が置かれていたが、１レベル上がったクラスでは読む力が必要とされる。短編小説から始まり、一冊の本、詩へと課題が移るたびに、比喩など表現が多くなり、言葉、行間、句読点などにも隠された意味を注意深く読みとらなくてはならない。特に、詩が難しかった。辞書には細かいニュアンスや語源、印象などまでは乗っておらず、結局は英語の「感覚」が求められてしまう。また、これまで長文で全体をつかんでいたため、１つの単語に凝縮された意味を読み取る作業へ頭をすぐに切り替えられず、他の生徒よりも把握に時間がかかった。しかし、グループ・ディスカッションでは前学期の英語クラスと比べて、自分の意見や考えを少しだけ表現できるようになっていて、意見交換ができたのはとてもうれしかった。自己表現だけでなく、相手とうまくディスカッションできるようコミュニケーション力を高める必要があると感じた。

２．Engl 172(Vocabulary Improvement)

前学期での心理学、ろう教育などの一般クラスで、知らない単語が多すぎて読むスピードが落ちてしまうことを痛感していたので、「見たことがある」単語だけでも増やそうと自習式の語彙力を伸ばすクラスを取ることにした。導入の段階で十分な情報が得られず多少出遅れを取ったが、毎朝英語クラスを終えたあと夕方もしくは夜まで引きこもったおかげでなんとかノルマをこなすことができた。このクラスでは、初めに習熟度診断テストが行われ、その結果と専攻分野を参考に個別プログラムが作られる。単語とその意味だけ覚えるもの、短い文から意味を想定したあと少し長めの文の空欄に適切な単語を当てはめていくもの、専門的な長い文章から意味を憶測するもの、接頭語・接尾語から意味を想定するもの、とさまざまな学習方法があった。その中で、短い文から意味を想定するものは得意で覚えやすかったのだが、専門的な内容の文章になると意味がつかめないことが多く、自分の得意分野、苦手分野がよくわかった。これをもとに、自分に合った英語学習法を考えることができたのでよかったと思う。語彙力については何と言っても「時間」、「繰り返し」、「慣れ」なので、大学院進学後もコツコツとやっていきたい。

次学期の目標

- 高度な知識、意見を ASL・英語で表現する力を鍛える。
- ASL、英語ともに語彙を増やす。
- 読解力と自然な英語表現力を上げるため、英語の本を読んだり映画 DVD を見たりする。
- 心理検査や面接などの対人的アプローチに向けて、形式的な英語・ASL だけでなく日常的なものも積極的に学び、コミュニケーション力をできるだけ磨いておく。
- 心理統計学、生理学、認知心理学などまだ不十分な知識を中心に基礎知識を固める。